

北秋田市教育委員会
平成29年7月定例教育委員会会議録

1. 招集年月日 平成29年7月28日(金)
2. 招集場所 旧北秋田市中央公民館2階 式場
3. 開会及び閉会 開会：午後1時 閉会：午後3時15分
4. 出席委員 教育長：佐藤 昭洋 委員：永井 高道
委員：佐藤 正俊
5. 欠席委員 委員：吉田 美樹 委員：小林 真
6. 出席職員 教育次長：松橋 久司 総務課長：金澤 聡志
学校教育課長：佐々木 馨 スポーツ振興課長：水木 正範
生涯学習課生涯学習係長：松田 淳子
生涯学習課文化係長：山本 明美
総務課総務係長(書記)：畠山 久子
7. 傍聴者 なし
8. 報告事項 **【教育長報告】**
 - ・教育長動静**【各課長所管報告】**
 - ・7月の行事報告、8月の行事計画**【北秋田市教育委員会事務の点検評価について】**

9. 会議録

佐藤教育長	<p>ただいまから、平成29年7月定例教育委員会を開会する。</p> <p>本日の欠席委員は、小林委員と吉田委員です。2名の欠席者になりますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項に「教育委員会は、教育長及び在任委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。」とあることより、本日は過半数を満たしているので、会議を予定通り開催する。</p> <p>はじめに署名委員の指名をします。本日の署名委員は佐藤委員をお願いします。</p>
佐藤委員	はい。
佐藤教育長	次に、2番「6月定例教育委員会の会議録の承認」です。事前に事務局より配布されている会議録の内容に訂正等があればお願いします。何かありませんか。
永井、佐藤両委員	なし。
佐藤教育長	<p>では訂正等がないようなので、会議録については承認とします。</p> <p>続いて、3番「諸報告」です。その前に、本日出席している者について、生涯学習課長が先般の熊の事故によりまだ休んでいるので、生涯学習係長の松田と文化係長の山本が課長に代わって説明する。</p> <p>では、(1)私、教育長から動静報告を報告する。議会が終了して様々な事があった。6月29日から7月27日までの中で対外的なところから視察が入っていた。7月5日リフレッシュ学園行政視察に渋川市議会が入っている。私は参加出来なかったが7月19日に杉並区議会が視察に入っている。次長に対応してもらった。いろいろな会議等で挨拶をしてきたが、7月6、7日リフレッシュ学園森吉登山に参加し、子ども達と触れ合ってきた。秋田大学からのボランティアも入っていたので、この事業に対して秋田大学がどのような関わりをしているのか見て、そのことについて大学の先生とも詰めさせてもらった。学生の態度、参加の仕方について、やや難点があってその場で直接指導した。学生はその後の活動については、子ども達にすっと入っていけるようになって、よく活動していた。同じ所からどっと団体が来ると中々子ども達の中に入っていけない。そうではないだろうと話したところ、中に入っていけるようになった。それから、東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会の前の日、7月13日に全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会がコムコムで行われ、県外から沢山の方々に来て頂い</p>

佐藤教育長	<p>た。先に報告したように、次の日に現地視察で伊勢堂岱遺跡にいったところ、生涯学習課長が熊と接触した。小熊であったけれども、怪我し入院するといった事故になってしまった。それから、県議会も12日、21日に伊勢堂岱遺跡に視察に入った。12日は産業観光委員会佐藤県議会議員が先になって来た。21日は世界遺産登録議員連盟が来た。市議会も6月議会のときに世界遺産登録審議会を立ち上げたので、審議会の方々もお迎えしながら縄文館の中で遺跡の説明をした。22日から24日にかけては、国立市交流事業が行われ、私も国立市に行ってきた。それについては資料2ページの「北秋田市・国立市交流プロジェクト」。23日に合川まと火と合川太鼓の演奏を行うというイベントだった。1,300人の方々が国立市近郊から参加してくれた。次の日に、私は国立市役所を訪問して市長と面談し、今後の交流について協議してきた。市長からも「大変まと火がよかった。」と言われた。いつもは、まと火の点火の後、ぱらぱらと人がいなくなっていくが、今回は点火後に合川太鼓の演奏が始まり、演奏40分の間、市民の方々がずっと太鼓が終わるまで聞いていて、まと火が落ち始めるまで誰も帰らないでいた。国立市長、国立市教育長もまと火のみならず合川太鼓に感動して、すばらしい太鼓だと評価をもらった。市長は、北秋田市と姉妹都市提携したいと、セレモニーの中で市民を前に一方的に話した。かなり強い気持ちが込められている。11月3日に市政50周年記念式典が国立であり、北秋田市長に来て頂いて、ぜひ姉妹都市提携をして頂きたいということであった。実は、私が行ったのは、姉妹都市提携した時にどんな交流が可能かということで国立市教育長と会ってきた。教育委員会の組織は、北秋田市と同じように、総務課、学校教育支援課、生涯学習課がある。子ども達の様子として、学力調査を見ると、平成27年度の結果では小学校は私どもの成績が良いが中学校は国立が良さそうだ。28年度は今度は逆で、小学校は国立が上で中学校は北秋田市がいい。北秋田市と国立市の成績は同レベル程度の力である。国立は東京都の中でも抜群にいい。トップクラスにあるので学力については課題意識がないという認識でいたので、授業研究会など、そういった交流を対等にやることができるのでないか。ホテルを建てることができない、いわゆる文教都市であるため、教育には力を入れていて、一橋大学や東京大学への進学率が高い国立高校がある。成績が上の子がいるが下もいる。平均して高いところをみると、上の子を比べるとうちの子は適わないかもしれない。うちの子は下もぐっと高いので平均すると高い。中学校が3校であり、不登校は各校10名程度いるそうだ。学習塾に通っている割合は、学年が上がると割合も高くなるようで、中学3年生は7割を超える。北秋田市は5.5%。向こうがびっくりしていた。史跡、文化財はない。極端な貧困状況はない。東京都の学習状況調査は7月実施であり、平成30年度から小学校英語を完全実施し、その分、夏休みを3日間短縮している。小学校の英語教育に非常に力を入れていて、10月には英語の公開フォーラムを予定している</p>
-------	---

佐藤教育長	<p>とのことであつた。こういった簡単な情報交換をした上で、交流について如何かということだったが、向こうから、今度は教育委員の交流をまず最初にしたいというので、実は向こうから、教育委員の管外交流を3年に1回くらいやっていて、今年がその年で既に計画されてしまったということであつた。今年は無理だけれど、向こうの教育委員は是非こちらの方に訪問させたいと話していた。うちの方ももし予算的に可能であれば、また都合が付けば委員や校長会の代表などと向こうに行つて、例えば英語のフォーラムを見てくるとか、学校訪問を行うとか、向こうの様子を見てくるといった交流の可能性を探つてくるところを今年度中にできれば、この後の姉妹都市提携に、そして交流が繋がっていくのかといったことを考えている。まだ事務局マターだが予算的なことも含めて可能かどうか検討させているところであるので、その際は一つよろしくお願ひしたい。この件は後でご意見をいただければと思う。二つ目は、教員の研修交流。いわゆる授業研究会とか公開研究会といったところを、教員同士が国立で勉強してこようと、いうふうな予算を使っていくと集中的に教育交流ができるのではないかと感じている。毎年、北秋田市からも結構な数の先生方が筑波に2月に行つている。いわゆる特別な子ども達のいるところではなく、公立で頑張つているところに行つて見て研究してくるといった方が互いにためになるのではないか。校長会も交流してもらつと次の交流の仕方、アイデアがでてくつと思う。児童の交流、教育留学とかリフレッシュ学園など、それから生涯学習。こちらから行つた松田係長がGちゃんサミット、シニアの交流をという計画を話したところ、相手がとても乗つてきていて、生涯学習の視点からの交流も当然考えられる。それから体育。部活動やスポ少の交流も考えられる。具体的なことは、これからどういったふうにするか、予算的な裏付けとか、来年度に向けて考えていかなければいけない。何れ姉妹都市になるということは、予算化して市として形に持つていくことであり、市全体で考えることでもあると思うので、教育委員会としてできることは何かと、市の子ども達にプラスになることを計画できればと考えている。</p> <p>報告が長くなつたが、質問等はあるか。</p>
永井委員	<p>今、教育長が話された国立市との交流だが、教育委員もさることながら校長会とか先生方の交流を進めてもらいたい。特に前倒しで小学校の英語教育が、由利本荘市のように来年度は全小学校で展開するといったところもあるので、そういった点で貴重な研修になるのではないかと考えている。</p>
佐藤委員	<p>私もそう思う。何年か前には仙北市と教育委員の交流があつたが、交流しにくいというか、何を話したらいいか中身があまり良くなくて、交流が切れてしまった。内容が良ければ、ずっと続いていたと思うが。教育委員会同士</p>

佐藤委員	<p>の交流は難しいと感じた。今、永井委員が言ったとおり、先生方の交流であればいろんな面でプラスになっていくのではないかと思う。</p>
佐藤教育長	<p>わかった。それを踏まえて考えてみる。どっちが先かという事だが、先に委員同士が交流して、その後教員同士の交流をした方がよいと考えた。</p>
佐藤委員	<p>一回目はいいのだが、二回目になると苦しい。またかということになる。</p>
佐藤教育長	<p>常態的に委員の方々に行ったり来たりということを想定したものでなく、互いに交流することが大事でないかと考えている。そういったことからスタートになる。例年行くとか二年に一回行くとかでなく、先ずスタートとして委員の方が行って、それから先生方が行くという形がいいのではと思う。予算的なことがあるので今の段階ではっきり言えないが、私の気持ちとして、一回目は委員の皆さんに行かれることで、大きな次に踏み出す足がかりになるのではないかと、そういう気持ちで行って頂ければと感じている。</p> <p>その他に何かありますか。</p> <p>伊勢堂岱遺跡のこの後の事だが、後程、文化係から話があると思うが、今考えているのは電気柵とカメラによる監視、そういう体制が整って、熊が来ていないということが確認できたときにオープンできればいいと考えている。つい2、3日前に遺跡に設置した檻に一頭捕まった。1メートル40位の大きな熊だったが、宮腰課長を襲った熊ではないようだ。一頭だけでなくいっぱい熊がいる。</p> <p>では、次に(2)各課所管事項の報告。はじめに総務課長からお願いする。</p>
金澤総務課長	<p><7月行事報告></p> <p>資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月14日 東北6県市町村教育委員会連合会研修会 <p><8月行事計画></p> <p>資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月1日 秋田県学校給食共同調理場職員研修会 ・秋田県学校給食調理員研修会 <p>・リフレッシュ学園について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 学園生11名(市内中学1名増)。 ・活動内容 7月6、7日「森吉山御来光登山」実施。 ・視察 群馬県渋川市議会8名、東京都杉並区議会6名。 <p>・短期チャレンジ留学Iについて。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月25～30日 県外小学生29名参加予定。

金澤総務課長	・沖縄県の保護者による、教育留学、移住を視野に入れたりフレッシュ学園、合川小学校等の見学。
佐藤教育長	ただいまの報告について、意見などありませんか。
永井委員	沖縄のケースの反応はどうか。
金澤総務課長	学校施設もすばらしいということだったが、自分の仕事のこともあり、帰って検討したいということで明言を避けた。
佐藤委員	補助があれば良かったのだろうが無くなったこともある。
佐藤教育長	短期留学にくるのか。
金澤総務課長	今回は来ない。
佐藤教育長	ほかに質問等ないでしょうか。それでは次に、学校教育課からお願いします。 その前に、学校教育課の説明の中で、不登校の状況やいじめの調査の結果については議事録から非公開とさせてもらうことを予めご了承頂きたい。
佐々木学校教育課長	<p><7月行事報告> 資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月18日 校務支援システムプロポーザル ・7月25日 市センター野外観察会 ・7月28日 市センター郷土学習フィールドワーク <p><8月行事計画> 資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月10日 教職員健康診断 ・8月18日 市実技研修会 ・8月下旬 ALT2名の入れ替わりに伴う歓迎会開催予定。 <p><児童・生徒数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月1日現在 4月1日から増減無し。 ・鷹巣南小児童1名 きらり支援学校に夏休み中の転出予定（療育センター）。 <p><事故報告・職員の異動></p>

<p>佐々木学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒 骨折4件、自動車接触1件あり、児童は手に血豆ができたものの直ぐにプールに入っている。検査で異常なく、その後示談が済んでいる。 ・職員 入院加療1名、育休1名。成人病認定手続き進行1名。 <p><栄光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のとおり。 <p><不登校の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のとおり。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊への対応ミニ教室 市内全小中学校対象に実施。 ・熊出沒による保護者の送迎、集団下校等の対応。 ・いじめ実態調査報告。資料のとおり。 ・7月22、23日の大雨の影響で貯水場に油が入り、大阿仁小学校プールが休止。
<p>佐藤教育長</p>	<p>ただいまの報告について、質問等ありますか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>新しいALTはどこか。今日ここに来るときに阿仁中の前を通ったら阿仁のALTが今までに無い格好をしている。よく見ると野球のユニフォームだった。子ども達と一緒に部活をしている。今までALTはそういうことがなかった。とても良い案配で子ども達とやっていて、大変ほほえましく大事にしたいと思った。</p>
<p>佐々木学校教育課長</p>	<p>地元の草野球チームにも入ったようだ。</p>
<p>水木スポーツ振興課長</p>	<p>「中村サラブレツ」に入った。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>何人もいない少ない子ども達と一緒に練習していて、とてもいいと思って見てきた。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>それは、今までのALTですね。</p>
<p>佐々木学校教育課長</p>	<p>はい。</p>

永井委員	いじめ関連の事故だが、鷹小の子は旧鷹巣西小の子どもかわかるか。
佐々木学校教育課長	そこまで今は。調査では何年生の男子か女子かしかわからない。学担に問い合わせればわかる。
永井委員	そこもみてもらいたい。それから、昨年度は感じられなかったが、旧西小の時の方がずっと良かったという声が最近聞こえてくる。その所を深めてみてもらいたい。前田小学校の場合は、転入してきた子どもでないとすれば、深く考えることも必要でないかもしれないが、本人はいじめと聞いていなくても、そういう感覚を持たれるということもあると思う。そこも見てもらいたい。そういう声が聞こえてくるときは注意をしなければいけない。西小関係についてはこの後も一件あるので、あとで発言する。
佐藤委員	病休の先生について、ちょっと長い。原因は何かあったのか。
佐々木学校教育課長	自信を無くしてしまったことが捉えである。採用から2年であり、その時は同期のしゃべれる相手もいたようだが、転任校のバリバリやる先生方の中で、みんなと同じようにやれない気持ちになっていったのでないか。
佐藤委員	前に学校で見たときは、そういう所の見えない、いい先生で明るく子ども達にも慕われていた。
佐藤教育長	エリート症候群でないが、ずっとよくしてきていて、周りと比べて自分に力がなかったということを感じたときに。保護者との関連も噂で聞いている。しっかり確かめていないが。様々なことが要因になっていると思うが、打たれ強くないと感じた。採用辞令交付で代表になっていたエースであった。非常にてきぱきとして良いなと思って見ていたのでショックが大きい。
永井委員	それから、これは予見だと思って聞いてもらいたい。近所に小学校の臨時講師がいる。いきなり入ったので苦労しながら職務精励しているが、もう少し管理職のフォローがあれば頑張れるのではないかという声もでてくる。
佐藤教育長	学担外がないので職員が目一杯なのだろう。学担が抜けると教頭が学級担任になって入らないといけないという状況の中で、一人抜けるという厳しい状況が続いていたようだ。臨時講師が入ったので、その分は援助できる状況になっていくと思う。

永井委員	後でそういう事をもっと早く伝達して欲しかったということがないように。
佐藤教育長	ありがとうございました。ほかに質問や意見はないか。なければ、生涯学習課から報告願う。先に生涯学習係長から。
松田生涯学習係長	<p><7月行事報告> 資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月9日 秋田県ふるさと創生事業「超大型絵本がやってくる」 ・7月10日 社会教育関係職員学校訪問 ・7月15日 「シニアの読み聞かせ講座」講演会・説明会 ・7月21日 防災キャンプ <p><8月行事計画> 資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月3日他 社会教育関係職員学校訪問 ・8月15日 北秋田市成人式 ・8月18日 マタギの地恵体験学習会 <p>・7月22日から24日までの「北秋田市・国立市交流プロジェクト」について実施要綱、報告書により説明。大きな目標である子ども達の交流と、合川太鼓保存会の実演を通じた文化交流、そして北秋田市のPRとして市の名産品や新鮮な野菜等の物販をしてきた。北秋田市と国立市の子ども達もまと火の準備を教え合いながら和気藹々と活動し、イベント会場は1300人で賑わい、特に合川太鼓が好評であった。解散セレモニーでは中学生達から立派な感想発表があった。国立市と北秋田市の思いが繋がるまと火となった。</p>
佐藤教育長	ただいまの生涯学習係の報告に質問等はあるか。なければ次に文化係から願う。
山本文化係長	<p><7月行事報告> 資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月3日 浜辺の歌音楽館休館（冷暖房施設入替え工事） ・7月13、14日 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会・研修会 ・7月21日 県議会「北海道・東北の縄文遺跡群」世界遺産登録推進議員連盟現地調査 ・7月28、29日 伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド事前研修
山本文化係長	<8月行事計画>

	<p>資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月20日 第12回北秋田市民俗芸能大会 ・8月31日 秋田県立図書館訪問 <p>・伊勢堂岱遺跡内での熊による被害について。7月14日、全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会研修会Ⅱの現地研修時に、生涯学習課長が小熊に襲われ負傷した件を資料により説明。現在、縄文館は開けているが、非常勤職員1名と職員1名が常駐して開館している。休館日の月曜以外は二人体制になっている。他の対応として、今年度、遺跡の周りに電気柵を設置することで当初予算も頂いたところであるが、現地の方の電気柵について県との協議が、遺跡の周りに工作物を立てることに細かな決まり事があるため、中々進められていなかった。8月のジュニアボランティアと9月1日の縄文まつりを控えて、安全確保のため、急いで縄文館の周りを電気柵で囲む取り組み中である。その後は、下刈り、間伐するなど見通しを良い状態にし、早いうちに遺跡公開できるような安全対策に努めたいと考えている。事故のあった7月14日から橋の方には入らないように警察から指示があり、しかし、入らないことには物事が進まないため、農林課と確認して、上の方に入るときは車異動と複数で動くこと、車から降りる場合には爆竹など音を鳴らして2、3分待って、状況が変化しないようであれば作業するなどといった形をとることにし、警察にもその旨を伝えている。安全対策をとった上で行動するといった計画をしたところで、もう一度相談する予定で現在進めている。</p>
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について質問や意見などはないか。生涯学習課が全て終了したので、次、スポーツ振興課から報告願う。</p>
水木スポーツ振興課長	<p><7月行事報告></p> <p>資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月1日 合川プールオープン ・7月7, 8日 東北地区スポーツ推進委員研修会 <p><8月行事計画></p> <p>資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月9日 第2回北秋田市なわとび大会 ・8月18~20日 国体東北ブロック大会県東北総合体育大会フェンシング競技
佐藤教育長	<p>ただいまの報告について質問や意見などはないか。</p>
佐藤教育長	<p>北秋田市のなわとび大会は、どの位のものか。</p>

水木スポーツ振興課長	一人で、回数を競うもの。前は一般参加もいたが、今は小学生だけになっている。
佐藤教育長	夜ですね。
水木スポーツ振興課長	そうです。
佐藤教育長	参加者は昨年に比べて多いか。
水木スポーツ振興課長	一人多く、31人。引っかかるまで延々と、他が待っている競技である。
佐藤教育長	では、他に質問やご意見がないようですので、次に進む。(3)北秋田市教育委員会事務の点検評価について、総務課長から説明願います。
金澤総務課長	教育委員会事務の点検評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に説明責任を果たしていくために実施している。 「資料No.1」により資料の見方を説明。
佐藤教育長	膨大な資料だが、ただいまの報告について質問や意見などはないか。
佐藤委員	不登校対策事業。前々から、学園と一緒にやる形でできないものかと。どういうものか。リフレッシュ学園とさわやか教室があるわけで。鷹巣でやっていたとき大変大事な事業として見ていたが、合併があって、同じような事業がある。統合というのはこういうものか。
松橋教育次長	実は、28年からリフレッシュを市単独でということになってから、財政当局から一緒にしなさいといわれている。27年度にそれに向かった話をしたときに、学校教育課から、さわやかの子はリフレッシュに行っている子とタイプが違って、リフレッシュにも行けないような子ども達が来ている。特に鷹巣地区の子ども方がリフレッシュに通えないということだったので、そこを財政当局にもわかってもらって、この2年はやってきているが、予算査定の時期になれば、また財政当局から何とかしろといわれるのは容易に予想が付く。学校教育課長、さわやかについてどうですか。
佐々木学校教育課	毎年、ここ2年位までは鷹巣南中と鷹巣中が結構不登校気味の子どもがさわやかを利用することが多く、リフレッシュまで行けない。交通手段が難し

長	<p>くてという子が人数多かった。今は鷹中が数名でリフレッシュにも通っている子がいて、今は二人位の利用である。そこが無くなったとすれば心配な面もあり、リフレッシュになった時の交通手段がネックなのかと。</p>
佐藤委員	<p>以前は、交通手段が無くて小さい子を母親が自転車に乗せてきていたこともある。確かに、交通手段といえば鷹巣だけでない。来たいのだけれど交通手段がないとすれば、市として考えて行かなければならない。市外の子は別として、市内の子は何らかの方法があるのではないかと。朝早く学園の先生が連れてきたこともあるし、合川駅で待つとか、方法があるのでは。さわやかにかかっている予算も結構な額なので、財政的に容易でないとすれば工夫が必要でないかと感じた。</p>
松橋教育次長	<p>さわやかにきている子は、人と関わっていけそうか。</p>
佐々木学校教育課長	<p>タイプがそれぞれなので一概に言えない。リフレッシュに行っても一人でできるような事があれば、一人でも体験できるようなスタイルであればリフレッシュでも何とかなるか。必ずみんなと同じ行動をしなければならないとすれば、ちょっと大変では。</p>
佐藤委員	<p>さわやかとリフレッシュはたまに交流しているので、確かにみんなの中に入れないということはあるかもしれない、子どもによっては。</p>
松橋教育次長	<p>教育留学の子も最初は壁にばかり向かっていたが、今は他の子とうまくやっている。</p>
佐藤教育長	<p>私も気になってさわやかにいってみたら、対象が鷹中の特別支援の子で、しかも一人学級の子で。学校に一人で行けなくなっていて。学校に行くときに彼女も一緒について行って学校の中で支援している。学校に行っても教室に入れないので保健室にいるときに支援しているとか、機能はしている。Kさん。リフレッシュの方も見に行ったというから、あれ？と。今年状況だと学校にも行けるようになっていたので、少し見ながら、不登校予備軍もどいう状況になっていくか考えていかないといけない。いずれ、性質ははっきり違っていると思っている。リフレッシュは心を耕して学校に戻してやる、さわやかはどちらかというところそういう中に入れないが勉強はやらせないといけない行政の責任を果たしていく、という性格の違いがある。子どもにとってどうかというと、やはり学校に戻してやる体験型の方が効果は高いと思う。だからといって、さわやかをなくすると、そこを頼りにする子ができなくなる。その辺の事を学校教育課には子どもの様子をしっかり見て検討していけば、必要な展開が見えると思う。</p>
佐藤教育長	

佐藤委員	<p>一人の子を大事にするということは良いことで、この方向でも良いことである。今後、学園としても人数が多くなっているの、指導に工夫が必要になってきている。何人かで集まって一緒に授業をしているが、遅れていく。沢山先生がいれば、子どもの授業にプラスになるのでないかという気がしている。おそらく保護者にとってさわやかは良いと思う。大事にされている。</p>
佐藤教育長	<p>今、劇的に不登校の人数が減っているの、北秋田市として改善傾向にある。ただ、一人一人のニーズにあったものをどう確保してやるか。今年は様子を見ながら、さわやかとして機能できるようにしてやれればと思う。</p> <p>そのほかにないか。有効性で評価が低かったところの説明を求める。有効性1、費用対効果1である「30 陶芸ハウス管理事業」「31 あいターミナル管理事業」について生涯学習係から。</p>
松田生涯学習係長	<p>どちらも合川にある事業で、昨日情報を得てきた。</p> <p>「30 陶芸ハウス管理事業」は有効性1、期待以下であったが、必要性は2である部分を確認してきた。使用状況は、利用充実を図るために維持管理を合川公民館がやっているのだが、陶芸教室をやっている自主団体、合川公民館で一つの講座、あいかわ保育園年長児40人が年間通して使用している。長年にわたり、陶芸ハウスを利用して陶芸教室の方々が自主活動しながら、保育園年長児が茶碗を作るのを指導し学習活動を続けている。陶芸ハウスで長年活動している団体なので、この施設をもっと有効活用して欲しいという願いがあるようで、ほかの利用者を探すなどサークル活動を継続して行きたいとのことであった。陶芸ハウスを維持する必要性はあるので、今後は合川公民館がコーディネーター役をして施設を有効活用する手段を考えて行くところである。例えば、指定管理をするところがあれば、規模を縮小しても民間に委託する形もという意見も出された。鷹巣にも陶芸釜があり活動しているところがあり、交流している。市内の陶芸の人数は減っているわけでないが、この事業の方向性を見定める時期が来ているのでないかと考えているとのことであり、有効性1であるが必要性はあるということ。</p> <p>同じような性質の「31 あいターミナル管理事業」は、上杉駅隣接の施設にあり、上杉自治会と共同で使用。くまげらネットを中心として、合川公民館パソコン講座を今までも継続して行っていて既設14台のパソコンを使って今年4月からの超基礎講座には10人の講座生徒がいる。また、くまげらネットの田中さんを講師に、10月頃、内陸線を使った動画を編集する講座を企画している。これも合川公民館がコーディネートしている。シニア、高齢者の方々が使えるようにという取り組みである。建物全部が「あいターミナル」である。上杉自治会が定期的な活動時に使用。合川公民館で払っているもの、自治会が払っているもの、清掃委託は自治会になっていて、施設</p>

	<p>は、選挙投票所、避難所にもなる。利用者のカウントは、講座利用者の記帳だけだったが、これからは自治会利用者と講座利用者の数をカウントする。人数から見ても費用対効果が低くなるものであったが、上杉地域の拠点ともなる所であることから、陶芸ハウスと同じように指定管理を考えていけないかということが合川公民館の考え方であった。実は、くまげらネットが隠れた支援をしていて、メンテナンスを無料で行ったり新しい機材を入れたり魅力的な講座をしていたりなので、指定管理をお願いできるのでないかという要望があった。くまげらネットにも打診している。二つの事業とも、指定管理を考えながらまい形で施設を有効に使って地域性を見ながら継続できればというところをいわれてきた。今後の方向性を見定める事が今年が一番の大きな課題であると考えている。</p>
佐藤教育長	<p>この時点について、何かないか。</p>
佐藤委員	<p>この件は確か何年前に、利用の仕方について話があった。あいターミナルにいつているが、ほとんど内陸線沿線に伝わっていない。合川上杉近辺の人だけの利用。本当にいいところで、雨にも濡れないで受講できる。他の地域に宣伝されてない。年齢的に私達より上の方々が利用者が少なくなっていて、孫に教えてもらうとか家庭に教わる環境ができていない。昔の形の講座はこれから難しい時代になっていくのでないかという気がする。内陸線を活用させながら、受講宣伝はしっかりする事は大切でないか。</p>
永井委員	<p>陶芸ハウス管理だが、新聞等で見ると旧合川保育園時代の情操教育、日本の文化ということで茶道を教える特色がある。阿部先生が高齢になられ、後継者はおられるか。</p>
松橋教育次長	<p>若干若い方々がいる。</p>
永井委員	<p>そういう方がいるなら、もう少し継続しても良いと思う。若いサポートしてくれる人がいれば継続は止むを得ないのでないか。ただ、管理を委託した時に事業費がどの位縮小されるかということは考えられないでしょう。</p>
松橋教育次長	<p>指定管理をすればもっとかかる。</p>
佐藤教育長	<p>どちらも合川公民館の所管施設だが、公民館も人が増えれば新しい企画も出るだろうが、今いる中でやっていくことで手一杯の所があるようだ。生涯学習課本課も手助けしてやらないとうまく機能していけないのでないか。例えば、陶芸ハウスも食と陶芸を繋げるなどアイデアをだして、人材を引っ張り出して講座をやるとか、やり方によっては使えそうな所があるので、本</p>
佐藤教育長	

松橋教育次長	<p>課もアドバイスして方向性を探って欲しい。地域の人達が少なくなっている のであれば育てないといけないから、そこの中にいる人達で育てられれば一 番良いし、外から引っ張ってきて育てることもできればそれも良い。あいター ミナルは「はじめてのお使い」に出てきたところですね。</p> <p>自主サークルの人達と会ったか。</p>
松田生涯学習係長	<p>私はない。</p>
松橋教育次長	<p>陶芸のことで、サークルの人達が絡まっていて、後からの人が入っていき づらいということを知った。それが広がっていかないネックになっているの でないか。わだかまりなければ、もっと広がる。サークルの人の意識を変え てもらいたい。</p>
佐藤教育長	<p>公民館に行ったら生け花をさした飾りが置いてある。そういったものと、 陶芸との絡め方に工夫を。やはり人である。</p>
佐藤委員	<p>陶芸の釜は放っておくとだめになる。定期的に火を入れないと。リフレッ シュにもある。ものはあるが指導する人がいない。合川の時、お金をかけて 作った釜である。</p>
佐藤教育長	<p>あいターミナルは建物だから、ソフトの部分は難しい。</p>
松橋教育次長	<p>くまげらネットのサーバーをあいターミナルに置いている。くまげらも商 工会で手放してからあちこちに行って最後、そこに落ち着いた。あいターミ ナルからクマゲラが出ないといけないことになれば、あいターミナル自体が だめになるので残したい。</p>
佐藤委員	<p>常時だれかいるのか。</p>
松橋教育次長	<p>常時はいない。たまにサーバー管理のために行っている。</p>
佐藤教育長	<p>内陸線の駅にあることがメリット。アイデア募集も一つのアイデアか もしれない。</p>
松橋教育次長	<p>こういうものがあることを鷹巣の人達は知らないだろう。PR方法を考え れば良い。</p>

佐藤教育長	<p>内陸線の利活用を含めてPRしていくこと。上杉住宅の人達もいる。その他のところでご意見等ありませんか。なければ次の項目に移ります。4番 その他。(1) 次回の定例教育委員会の開催について、事務局より提示願います。</p>
畠山総務係長	<p>次回の定例教育委員会は、開催を8月31日木曜日 13時からに予定する。会場は、旧中央公民館改修工事が始まるため、旧中央公民館式場から、北秋田市民ふれあいプラザコムコムになる。</p>
佐藤教育長	<p>この日は、3時半から県議会議員との意見交換会があるので、3時前には終われるように計画するように。</p> <p>わかりました。</p>
畠山総務係長	<p>(2) その他。永井委員から。</p>
佐藤教育長 永井委員	<p>先ず、事情で教育長が途中退席されたが7月14日の東北6県市町村教育委員会連合会研修会の出席報告について。当番の秋田県は非常によく担当していて総合的に充実した研修会だった。特に、大森山動物園小松園長の講演が参加者の高い評価を得る内容で、教育の原点に関わる講話であった。学校現場でも講師に来て頂いて活用していて、社会教育の観点からでも、県内の方であり経費の面からも割安で呼べる方だと。地域の高い評価もあり、小松園長の事を強調して報告したい。目玉の一つが、新指導要領実施。鈴木ひろゆき課長補佐が講演してくれたが、非常に盛りだくさんの内容で説明してくれたが、これは教育委員会全体で共有しなければならない内容である。資料を活用してもらいたい。以上報告する。</p>
永井委員	<p>もう一つも報告に該当するかもしれないが、7月25日11時頃に坊沢地区の鷹小の保護者という女性から連絡が入り、孫を鷹小プールに送り迎えしなければならない状態になったと。統合した去年はスクールバスが手配されていたのに、今年4月に保護者にはバス送迎しないことの連絡が入っていたようだが、子どもが行きたいというので、私達がこの周辺では送り迎えしている。できる家庭はいいが、送り迎えできない家庭は我慢するしかない。旧鷹小の子ども達は歩いても行けるが旧西小学区の子はバス利用か歩いて行く形になる。これは問題であるので教育委員会として然るべき検討をし、来年度改善する形がなければならない。どこにしゃべったらいいかわからないので教育委員であるあなたに電話した、ということであった。そういう状態をはじめて知ったので、然るべき所にどのように対応できるかということを検討してもらいたいと伝える、と答えている。</p>

佐藤教育長	旧西小学区の子ども達のプールについて学校教育課から。
佐々木学校教育課長	<p>詳しくないが、昨年はまだ旧西小の近くに放課後児童クラブがあつて、その関係もあつて、昨年度限定で鷹小プール利用のバスを出していた。今年度は放課後児童クラブが西小のも鷹小と一つになったので、その関係から昨年度の段階で、今年のプールのためのものはない、鷹巣西小だけでなく、他の学校との整合性も考えて、阿仁や根子の子どもも同じような状況でプールのバスは無く送り迎えになっている。鷹巣南の奥の方もプールには送り迎えかデマンドタクシー。そういった整合性を考えた上の今回の様なことである。</p>
佐藤教育長	<p>鷹小のところの児童クラブができたので、そこに通っている子ども達は直ぐ横の鷹小プールに行けるのでは。児童クラブを利用していない子が問題になっている。</p>
佐藤教育長	<p>夏休みは児童クラブに通うのにバスは出していないのでは。</p>
松橋教育次長	<p>児童クラブへの送り迎えは親である。</p>
佐々木学校教育課長	<p>阿仁根子の場合はスクールバスが毎日来ている。</p>
佐藤教育委員	<p>これは時間が合わない。中学校の補習時間に合わせていて、8時に合わせて着くことになっていて、プールは9時半から開始している。</p>
佐々木学校教育課長	<p>でもそれに乗っている気がする。今聞いている問題は確かに出ると思う。</p>
佐藤委員	<p>それをやるとすれば、どの地区もプールの時間帯に合わせたバスを出すことも考えないといけない。</p>
佐々木学校教育課長	<p>非常に難しい。</p>
佐藤教育長	<p>難しい話だが、子の安全、命を守るとすればとても大事なスクールバス運行になる。万一の時に、水泳できないからといったことにならないように。</p>
佐藤委員	<p>学校で必ず来なさいというような行事を持っていればバスを運行してオーケーなので、小学校でも例えば宿題を担当が見るような設定があればバスに乗ってきても良いことになっているが、プールはそうではない。線引きが難</p>
佐々木学校教育課	

長	しい。プールのバスを出すと、乗ってはいけない、保護者の送り迎えのはずの学童の子も乗ってくるといった事が想定され、その見届けができない。
佐藤教育長	空らバスを出してもいいからという腹をくくるなら、やるということもあるだろうが、バスを出すのにかなりの経費がかかるのだろう。
佐々木学校教育課長	いくらかかる。
永井委員	ある期間を決めて、バスを出すようなこともA案。このままでいくのをB案。というふうにして、ある程度要望を聞き入れた形をとる。
松橋教育次長	市内全部を対象にしないといけない。合川小学校統合の時も、浦田小が前田小、米内沢小に分かれた時も、バスは出していない。鷹巣西小だけ統合時にやった特例によって、今年の不満が生じている。特例というのはよほど考えないととんでもないことになる。
佐藤委員	大事なことは、地域の希望を聞きながら統合した方が良いということで統合したことが前提であること。スポーツの面、子どもの安全などから考えていけば、プール指導は大事なことだと考える。この暑い中でできるだけ早く考えなければならない課題でないか。
佐藤教育長	バス運行には、誰か乗らないといけないか。
佐々木学校教育課長	スクールバスはいらない。運転手だけで。
松橋教育次長	ただ学校の無い日に運行するとなれば話は別だと思う。
永井委員	児童クラブにいつている期間限定の登録をするような形で利用するということは可能か。
松橋教育次長	児童クラブのためのバスの運行はできない。プールだけと切り離した方が運行しやすい。
永井委員	今までの職員がどういう形にせよ、職員が必ず学校にいてプールを利用する形だったので、何かあったときでもすぐに連絡が取れ、児童館でもどこでも対応することができた。

佐藤教育長	<p>梅雨が明けた期間から2週間経って、先ほどの提案の様に、学校で水泳教室を行うといった形を呼びかけてやることは可能なのか。強制でなくても自由参加であっても、学校で行事を組んでやればバスの運行は可能か。そこを含めて、ここでは直ぐ結論でないが、できるだけ早く結論が出せるように。学校は休みになっているので。</p> <p>全部の学校でなくても、中学校の補習で運行しているわけなので、その日にあたればちょうど良く時間に合わせた計画ができればですね。</p>
佐々木学校教育課長	<p>学校行事にしてしまえばスクールバスは運行か検討してみて可能であれば。</p>
佐藤教育長	<p>急には厳しい。</p>
佐々木学校教育課長	<p>今年度はもう休みが始まってしまっているけれど検討してもらいたい。</p>
永井委員	<p>今までこういった水泳の事はあったか。</p>
佐藤委員	<p>根子や本城から、ちらっと出てきたと聞いている。</p>
佐々木学校教育課長	<p>川では泳いではいけないし。学校が遠くなっていくといろいろな難しい問題が出てくる。</p>
佐藤委員	<p>こちらの今後の検討課題にする。</p>
佐藤教育長	<p>ほかにありますか。無ければ、それでは、本日の会議に予定されていた項目は全て終了です。以上を持ちまして7月の定例教育委員会を閉会します。</p>

(午後3時15分 閉会)